

令和7年
2025年

10月2日
木曜日

第11805号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



日本ハムが歳暮ギフト発表会を行った……P4

- ▶【10月の相場見通し】豚肉……………P2
- ▶【加工品仕向肉量・8月】国産、輸入の合計数量は3万2762tで5・5%減……………P3
- ▶【人事異動】農畜産業振興機構・9月30日付、10月1日付……………P3
- ▶購買傾向に合わせて提案を強化—日本ハムの2025年歳暮ギフト発表会①……………P4
- ▶【豚肉調製品輸入通関・8月】シーズンドなど合計9362tで7・3%減……………P5
- ▶オークワの26年度2月期中間決算は増収減益で着地、コスト削減や効率化施策などが奏功し、利益面は大きく上振れ……………P6
- ▶日本食肉流通センターが11月11日にセミナー開催「成長著しいEC市場への適応と、人材不足への対応について」……………P6
- ▶MLAが札幌、金沢、福岡、名古屋、沖縄の5都市でセミナー開催……………P6~7
- ▶【関東の輸入豚肉現物相場】Cは全体的に堅調、Fスソ物中心……………P7
- ▶【関東の国産豚肉現物相場】C、Fともに引き続きスソ物堅調……………P7
- ▶と畜場名簿⑥……………P8
- ▶【資料】2025年8月分の食肉輸入通関実績⑩……………P9
- ▶【東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数】1日……………P10
- ▶【各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場】1日……………P11

注目のヘッドライン

【10月の相場見通し】豚肉

…詳細はP2

【加工品仕向肉量・8月】国産、輸入の合計数量は3万2762tで5・5%減

日本ハム・ソーセージ工業協同組合がまとめた8月の加工品仕向肉量によると、国産と輸入を合わせた合計数量は3万2762t(前年同月比で5・5%減)となった。

…詳細はP3

新刊 銘柄牛肉ガイドブック'25

多岐にわたる情報を網羅

生産 と畜 流通

380
ブランド
以上

定価 B5判/258頁
2,500円

食肉通信社



【10月の相場見通し】豚肉

【豚枝肉】600円絡みの展開か、高止まりから一段安に

【東京】9月前半は厳しい残暑が継続。引き続き肉豚の種付けや生育不良によって出荷の遅れや上物率の低下などもみられ、出荷頭数自体はなかなか増加基調とはならなかった。一方、猛暑の影響によって末端消費は伸び悩み、さらに小売店でも鍋物商材など、秋冬向けの提案が進まなかったこともあり、全体的な需要は鈍かった。

枝肉相場は500円台から600円台を行き来しており、安値と高値の振れ幅は大きかった。農水省の肉豚生産出荷予測(9月24日発表)によると、10月は147万7千頭と、前年同月比では1%、平年比では3%と、それぞれ増加の予測となっている。ようやく涼しくなってきたこともあり、10月はそれなりに出荷頭数が出てくるのが期待される。弱含みか。

【大阪】外気温も下がってきていることで、大阪市場の上場頭数も回復に向かっている。これにより、夏場の高原相場に比べて価格はかなり下落してきている。このまま10月に入れば集荷はさらに安定すると見込まれており、価格は少しずつ下がっていきそうだ。ただ、それでも全国的な疾病の影響や、輸入ポークの仕入難の中で高値圏には変わりなく、日によっては高値となるなど、大幅な下げはないだろう。500~600円か。

【福岡】10月基調は続落か。枝肉の相場展開は不透明だが、相場水準は例年同様に9月の一段安とみる。秋の出荷頭数増に加え、残暑で成育遅れの豚が出荷適期となり、九州では供給頭数の増加が予想されるため。夏場以降、高値水準が続いた枝肉相場がやや落ち着けば、量販店を中心に実需家の特売頻度も増え国産需要は好転するか。相場は先行指標の関東周辺に追随し、月平均は600円台前半とみる。

【豚部分肉】徐々に中部位も動く、バラ、カタローズが良化

【関東】9月は夏休みが終わって学校給食が再開したこともあり、ウデやモモなどのスソ物中心の堅調な荷動き。さらに後半からは猛暑が和ら

ぎ、急激に秋らしい気候となったため、小売店の売り場では秋冬向けの提案も本格化した。

バラやカタローズなど、鍋物商材のスライス系アイテムの荷動きも良化しており、10月はさらにその傾向が強まる。冷凍品についても同様であり、鍋物商材の提案などにより、ロイン系やバラといった中部位を中心にした引き合いが徐々に強まるか。一方、在庫水準については全体的に締まった状況が続いている。10月は出荷頭数も徐々に増加傾向となることが予想され、年末に向けて凍結回しとなるケースも増えるか。

【関西】依然として日中が30度Cを超える真夏日が大半の中、全国出荷頭数の回復も例年より遅れており、需給は締まった状況が続く。中部位の荷余り感も少なく、全体的に堅調な動き。ヒレは変わらず。

10月は、暑さが幾分和らぐ下旬以降は鍋物需要も徐々に高まることが見込まれ、バラ、ロース中心に強含みの展開か。ウデ、モモはもちあい。バラなどの値段次第では一段高の展開も。また、外食向けではトンカツ店の増加により、ロースの引き合いが前年比で大きく増加。輸入物で補いつつも国産志向の店舗も増えており、増勢が続く。

【輸入豚肉】底堅い需給が継続か、スソ物は引き続き堅調

9月の輸入チルドポークは、一部で入船遅れの影響がみられたことや末端消費もそれなりに堅調だったことから、ベリーやロイン系、さらにピクニックなどのスソ物に至るまで、全体的に荷動きは比較的良かったようだ。

10月は国内の出荷頭数も増加基調となることが見込まれ、国産物へシフトするケースもみられそうだが、それなりに底堅い需給が継続するか。

フローズンポークは、依然として南米産を中心に在庫水準は高く、引き続き冷凍倉庫の庫腹にも^{ひっばく}逼迫感がみられる。

一方で気温が下がり、本格的な秋冬向けの荷動きとなっていく中、加工原料などへ向けた荷動きの良化が予想される。中部位の荷動きは期待しにくいのが、スソ物を中心に引き合いがみられるか。

【加工品仕向肉量・8月】 国産、輸入の合計数量は 3万 2762 t で 5・5%減

日本ハム・ソーセージ工業協同組合がまとめた8月の加工品仕向肉量によると、国産と輸入を合わせた合計数量は3万2762t(前年同月比5・5%減)となった。このうち国内物が8790t(前年並み)となり、輸入物は2万3973t(7・4%減)と減少している。25年累計は26万8924t(1・2%減)。このうち国内物は7万5530t(1・6%増)、輸入物は19万3394t(2・3%減)で推移している。

畜種別にみると、豚肉は国内物が5170t(3・0%減)、輸入物が2万1998t(7・7%減)、合計2万7168t(6・8%減)で前年を下回った。

また、鶏肉は国内物が3502t(5・3%増)と増加し、輸入物も998t(1・5%増)と増加、合計では4500t(4・4%増)と前年を上回った。成牛肉は1064t(11・3%減)で、国内物が117t(9・5%減)、輸入物が947t(11・5%減)となった。

シーズンドポークなどを含む豚肉調製品は8195t(7・3%減)となっている。

2025年8月分の食肉加工品仕向肉量

(単位：t%)

区分		仕向肉量	対前年同月比	2025年累計	対前年同期比
豚肉	国内物	5,169.6	97.0	45,030.8	102.6
	輸入物	21,998.3	92.3	178,773.7	98.0
	合計	27,167.9	93.2	223,804.5	98.9
成牛肉	国内物	117.4	90.5	990.0	107.3
	輸入物	946.9	88.5	7,296.9	89.5
	合計	1,064.3	88.7	8,286.9	91.3
子牛肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.7	77.8	5.5	84.6
	合計	0.7	77.8	5.5	84.6
馬肉	国内物	1.1	40.7	24.0	98.0
	輸入物	6.5	151.2	46.4	108.9
	合計	7.6	108.6	70.4	104.9
綿羊肉	国内物	0.1	0.0	0.3	0.0
	輸入物	21.3	132.3	168.6	121.1
	合計	21.4	132.9	168.9	121.3
山羊肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.2	66.7	2.1	84.0
	合計	0.2	66.7	2.1	84.0
鶏肉	国内物	3,501.5	105.3	29,484.5	99.8
	輸入物	998.4	101.5	7,100.7	99.6
	合計	4,499.9	104.4	36,585.2	99.8
合計	国内物	8,789.7	100.0	75,529.6	101.6
	輸入物	23,972.3	92.6	193,393.9	97.7
	合計	32,762.0	94.5	268,923.5	98.8
うさぎ肉	国内物	0.0	0.0	0.0	0.0
	輸入物	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0
魚肉	国内物	1.3	86.7	9.7	83.6
	輸入物	11.3	103.7	93.0	101.8
	合計	12.6	101.6	102.7	99.7
【参考】					
豚肉調製品		8,194.8	92.7	71,186.2	96.3
うちシーズンドポーク		8,189.7	92.9	71,132.0	96.4

注) 1. 仕向肉量は食肉加工工場より報告された数量である。

資料：日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べ「食肉加工品等流通調査」
(公益社団法人日本食肉協議会委託事業)

【人事異動】 農畜産業振興機構・9月30日付、10月1日付

独立行政法人農畜産業振興機構は、9月30日および10月1日付の人事異動を次の通り発表した。

〔退任(9月30日付)〕独立行政法人農畜産業振興機構総括理事 森田健児▷同 新納正之▷独立行政法人農畜産業振興機構理事 藤野哲也

〔新任(10月1日付)〕独立行政法人農畜産業振興機構総括理事 徳田啓史▷同 藤島博康▷独立行政法人農畜産業振興機構理事 橋場健▷同 大倉達洋▷同 後藤由美▷同 玉原雅史

購買傾向に合わせて提案を強化—日本ハムの2025年歳暮ギフト発表会①

日本ハムは1日、大阪市北区の本社で2025年歳暮ギフト発表会を行った。会見には加工事業本部マーケティング統括部から山岸昌隆ギフト企画室長、藤元優希マーケティング室長らが出席した。冒頭、藤元室長(上写真)が直近のギフト市場動向を説明するとともに、24年歳暮商戦を次のように振り返った。

ギフト市場全体は引き続き伸長傾向にあるが、中元や歳暮といったフォーマルギフトは縮小を続けており、昨年の歳暮市場は前年比95・7%となっている。フォーマルギフトが全て減少傾向にあるかというところではなく、伸びている市場もある。結婚祝いの返礼品が伸びている他、長寿祝いや病気見舞い、香典返しなども増えている。一方で出産祝いや進学祝いといった市場は縮小しており、少子高齢化の構図が市場に反映されている背景がうかがえる。また、販売チャネルについては、SNSを活用したLINEギフトなどのソーシャルギフトが規模感としては小さいながらも着実に伸長している。

2024年の歳暮市場全体の贈答金額は前年比89%、件数は87%となった。平均単価は4478円で前年比77円高となっており、単価上昇によって贈答金額の落ち込みが件数よりも少なくなったと考えられる。カテゴリー別でも主要カテゴリーの多くが前年を割り込んでいるが、ビール・発泡酒(件数94・6%、金額97・7%)、食用油(件数92・0%、金額91・7%)、嗜好飲料(件数92・6%、金額93・4%)が比較的落ち込みが小さかった。ハム・ソーセージは市場全体と同じく、件数が86・8%、金額が89・6%となった。

歳暮ギフト贈答者は男女共に70代以上の割合が高く、70代以上で4割以上を占めている。20～40代は女性よりも男性の購入割合が高く、特に女性は20～30代の割合が低かった。ハム・ソーセージギフトは50～70代の購入者割合が全体の8割を占め、構成比の低い若年層へのアプローチが課題となっている。また、歳暮ギフトの購入ルートについては、ネット購入が伸長し、店頭購入が縮小しつつあるが、店頭購入割合はまだネット購入の2倍以上の規模となっている。ただ、世代別で見ると、若年層になるにつれて、店頭購

入とネット購入の割合の差が縮まっており、特に20代ではほとんど差がない。そのため、若年層の取り込みにはネット販促も重要となりそうだ。

歳暮ギフト購入者に対する購入理由のアンケート調査では、「いつも購入しているから」「以前贈って喜んでもらえたから」「相手が好きだから」と、恒例の商品、相手の好みが決め手であることが多い。一方で40代以下の若年層では「自分が好きだから」「店頭で目立っていたから」など話題性で決める傾向もあるようだ。歳暮ギフト全体での価格帯別構成比では、4千円以下が5割強となっている。そうした中でハム・ソーセージは他カテゴリーと比較すると3千～5千円の構成比が高く、特に単価が高いローストビーフギフトは5千円以上が42%となっている。

こうした中で、当社のギフト戦略としては、シーズンギフト購入者を二つの層に分けて提案を行う。シーズンギフトの購入者はリピート層と浮動層で分けることができる。リピート層は高齢者に多く、「いつも購入している」「相手が好きなもの」を選んでいる。浮動層は若年層に多く、「マンネリ防止(目新しさ)」「経済的・合理的」という点を重視している。リピート層に向けては、高級感があり、本物へのこだわりがあるプレミアムなブランド商品を提案する。浮動層に向けては、認知度が高く話題性のある商品、普段使いのような実質的な商品を提案する。(連載続く)



[豚肉調製品輸入通関・8月] シーズンドなど合計 9362 tで7・3%減

財務省が公表した8月分の貿易統計によると、豚肉調製品の輸入通関量は、カタを原料としたシーズンドポークを含む1602-42-090は、合計9362t(前年同月比7・3%減)と前年同月から減少した。前月からも118t減少した。国別にみると、米国が5687t(7・9%増)、カナダが1218t(前年並み)、チリが936t(18・7%減)、メキシコが704t(28・8%減)となった。

カタ・モモ以外を原料とした1602-49-290の合計

は2654t(9・1%減)となった。国別では、米国が1664t(3・7%減)、中国が785t(50・3%増)、デンマークが109t(77・6%減)、タイが58t(38・5%減)、メキシコが22t(66・7%減)、となった。また、表記以外のモモ肉およびこれを分割した1602-41-090は、中国96t、米国26t、タイ23t、韓国19tなど、5カ国から合計169t輸入された。

1602.42-090 カタを原料としたもの

単位:トン

	カナダ	アメリカ	チリ	メキシコ	オランダ	デンマーク	その他計	合計
2023年計	14,418	74,098	8,124	10,415	3,619	14,800	8,578	134,052
2024年計	14,103	68,627	10,857	9,125	43	8,819	5,584	118,133
前年比	97.8%	92.6%	133.6%	87.6%	1.2%	59.6%	65.1%	88.1%
2024年8月	1,218	5,272	1,152	988	0	781	207	10,097
9月	1,143	6,001	648	660	0	735	469	9,656
10月	973	5,700	1,104	836	0	809	288	9,917
11月	1,195	4,952	864	572	0	434	691	8,708
12月	488	5,793	1,008	638	0	237	480	8,644
2025年1月	586	4,288	1,344	1,056	0	0	771	8,085
2月	660	5,224	600	528	0	17	397	7,426
3月	1,001	4,507	888	1,034	0	17	260	7,707
4月	1,146	6,379	983	989	0	155	924	10,577
5月	1,721	5,607	913	814	0	233	811	10,100
6月	1,340	7,055	840	704	0	144	635	10,712
7月	1,097	4,858	1,584	880	0	314	747	9,480
8月	1,218	5,687	936	704	0	73	744	9,362
前年同月比	100.0%	107.9%	81.3%	71.2%	-	9.3%	358.6%	92.7%
2025年累計	8,769	43,605	8,088	6,711	0	954	5,289	73,450
前年同期比	85.1%	94.4%	111.8%	104.5%	0.0%	14.4%	144.7%	90.4%

1602.49-290 カタ・モモ以外を原料としたもの、混合を含む

単位:トン

	中国	デンマーク	アメリカ	タイ	オランダ	メキシコ	その他計	合計
2023年計	8,597	3,180	20,614	1,290	1,149	1,001	230	36,061
2024年計	11,586	5,191	31,334	1,792	137	1,334	361	51,745
前年比	134.8%	163.2%	152.0%	138.9%	11.9%	133.2%	157.3%	143.5%
2024年8月	522	487	1,727	94	0	66	24	2,920
9月	580	473	1,205	102	14	108	19	2,502
10月	870	136	1,733	159	14	88	29	3,027
11月	606	269	1,293	92	31	44	41	2,377
12月	767	89	2,332	150	0	66	24	3,429
2025年1月	836	617	2,417	100	0	154	24	4,158
2月	460	289	1,996	75	0	44	23	2,887
3月	700	86	1,956	167	0	86	25	3,021
4月	989	326	1,669	96	16	88	54	3,237
5月	646	374	2,058	79	0	43	41	3,240
6月	603	392	1,786	115	0	110	7	3,013
7月	988	231	2,396	131	0	110	33	3,890
8月	785	109	1,664	58	15	22	2	2,654
前年同月比	150.3%	22.4%	96.3%	61.5%	-	33.3%	8.2%	90.9%
2025年累計	6,006	2,425	15,942	820	31	657	209	26,099
前年同期比	104.0%	83.5%	95.3%	96.4%	49.4%	100.3%	171.1%	96.3%

オークワの26年度2月期中間決算、増収減益で着地 コスト削減や効率化施策などが奏功し、利益面は大きく上振れ

オークワは9月30日、2026年2月期第2四半期決算を発表。営業収益1244億4800万円(前年同期比1・5%増)、営業利益は5・79億円(135・2%増)、経常利益は6・7億円(114・0%増)、当期純利益は、2・48億円(185・1%増)となった。同社は決算発表に先立つ9月26日、中間期決算の利益が期初計画を上回って推移する見込みについて発表。昨期は原料や人件費高騰などの影響を吸収し切れず期末に下方修正を発表するほど厳しい数字が並んだが、今期は6月20日に愛知県豊明市に豊明店(SSM業態、売り場面積2159㎡)、8月30日に大阪府堺市に堺市駅前店(SSM、1503㎡)をオープン。継続して取り組みを続けてきたコスト削減、効率化施策なども奏功し、上期業績は回復基調をみせた。

大桑弘嗣社長は「昨年から各種コストがさらに上がっている中で利益を増やせたということで、最低限の数字は出せた。ただ、食料品の数字(既存店伸び率0

・6%増)については、もう少し伸ばしたかったというところ。特に、われわれの強みでもある農畜水産物については、原料高の事情もあるが、少し数字を落としている部分もあり、てこ入れが必要だ」と上期業績について総括。下期の業績見通しについては、今後の原材料価格やエネルギーコスト上昇など、不確定要素も多いため、通期予想は営業収益2590億円、営業利益21億円、経常利益21億円、当期純利益8億円の期初計画を据え置いた。

下期は、子育て世代の顧客開拓として、18歳未満の子どもがいる保護者を対象に、ポイント還元や各種優遇を行う「こそだてクラブ」会員の増加を積極的に進める。そのほか、お客様アンケートを基にした商品戦略の実現、PB商品のさらなる開発・充実などの商品力強化、セルフレジの利用率向上などの効率化改善に取り組んでいく。

日本食肉流通センターが11月11日にセミナー開催 「成長著しいEC市場への適応と、人材不足への対応について」

公益財団法人日本食肉流通センターは11月11日、日本食肉流通センター大阪センター南館管理棟2階セミナー室で令和7年度第2回研修会(セミナー)を開催する。研修会では、フードビジネス専門のコンサルティング企業であるリライズコンサルティングの(株)吉田圭良チームリーダーが「食肉小売・外食業界の時流適応2025“成長著しいEC市場への適応と、人材不足への対応”」の演題で講演を行う。

大阪会場、川崎会場(日本食肉流通センターG棟3

階大会議室で大阪会場の講演をスクリーンで視聴)のほか、ZOOMでの参加も可能。参加希望者はセンターのホームページ(<http://www.piif.jmtc.or.jp>)から「参加申込書」を印刷。必要事項を記入し、センター担当者まで送付する。締め切りは11月4日16時。

問い合わせ先(センター担当者)は下記のとおり。
▷大阪 電話=06(6614)0001、FAX=06(6614)0003、担当=吉田氏▷川崎 電話=044(266)1172、FAX=044(299)3216、担当=左近司氏

MLAが札幌、金沢、福岡、名古屋、沖縄の5都市でセミナー開催

MLA豪州食肉家畜生産事業団は、オーギー・ビーフ、ラムを取り扱う業界関係者を対象に、全国5都市で「MLAセミナー」を開催する。

今回のセミナーは、最新のオーストラリアレッド

ミートの産業予測とMLAのマーケティング活動、そして業界関係者との懇親を目的に開催される。また、オーギー・ビーフ&ラムのアンバサダープログラム「AUSSIE BEEF MATE(オーギー・ビーフ・マイト)」

および「LAMBASSADOR(ラムバサダー)」によるパネルディスカッションも予定している。

参加には事前登録必須。各会場とも定員になり次第、受付終了となる。開催日時は次の通り。なお、いずれの会場も15時30分開場、16時～17時がセミナー、17時～18時30分が懇親会となっている。札幌 10月28日(グランドメルキュール札幌大通り公園)▷金沢

11月4日(ホテル日航金沢)▷福岡 11月10日(ANAクラウンプラザ福岡)▷名古屋 11月13日(ヒルトン名古屋)▷沖縄 11月20日(沖縄ハーバービューホテル)

申し込み・詳細は<https://www.aussiebeef.jp/seminar/fivecities2025/>

【関東の輸入豚肉現物相場】Cは全体的に堅調、Fスソ物中心

[フローズン]依然として、ベリーなどの在庫水準は高いものの、一時期に比べると庫腹の逼迫感^{ひっばく}は落ち着きつつある。気温も下がり、ひき材の需要なども高まっている中、ピクニックなど、スソ物を中心に引き合いは強い。

[チルド]出荷頭数が増加する時期を迎え、国産相場は軟調に推移しているものの、量販店の売り場では輸入ポーク中心の品ぞろえが目立つ。引き続きベリーやロインといった中部位に加え、スソ物の引き合いも強い。鍋物商材の提案なども増えており、全体的に堅調な荷動きが続いている。

輸入豚肉現物相場 (関東仲間冷蔵庫渡し)

キロ/円、税抜き

	輸入元	部位	相場	気配
フ ロ ー ズ ン	米国産	クッションミート	730中心	→
		テンダーロイン	840中心	→
	カナダ産	ショート・ボックス	790中心	→
		ウデ	770中心	→
		モモ	780中心	→
	デンマーク産	ベリー	930中心	→
		カラー	880中心	→
		ロインMM	860中心	→
		テンダーロイン	860中心	→
	フランス産	シートベリー	920中心	→
カタロース		880中心	→	
チ ル ド	米国産	ロイン (FLON)	780中心	→
		CCロイン	780中心	→
		テンダーロイン	1,080中心	→
		山付ベリー	1,250中心	→
	カナダ産	ボックス	830中心	→
		テンダーロイン	1,080中心	→
		ベリー	1,210中心	→

【関東の国産豚肉現物相場】C、Fともに引き続きスソ物堅調

10月に入り、小売店などの売り場でも秋冬向けの提案が増加しており、BBQ需要や鍋物商材の引き合いも増えてきている。ただ、10月からさまざまな商品が値上げされている中、消費者の節約志向はさらに

強まっており、より価格訴求力のある商品に需要が集まっている。スライス商材としてバラやカタロースにも引き合いはみられるが、小間切れや切り落としの需要は堅調に推移しており、引き続きウデやモモ、を中心に

スソ物の引き合いは強い。

フローズンも依然として、ウデやモモなどスソ物の引き合いは強い。夏場の高豚価で凍結回しにするタイミングが難しかったこともあり、在庫水準は低く、全体的に需給は比較的締まっている。

関東の国産豚カット肉相場

円/キロ

生鮮物		冷凍物	
部位	相場	部位	相場
カタロース	1,080~1,150	カタロース	970~1,000
ウデ	800~850	ウデ	760~790
ロース	1,050~1,080	ロース	950~980
バラ	1,100~1,200	バラ	980~1,030
モモ	800~850	モモ	760~790
ヒレ	1,000~1,050	ヒレ	930~960

と畜場名簿⑥

と畜場名簿

(令和7年4月1日現在)

埼玉県	㈱ワ7 〇行-白岡処理工場	プロイラー	埼玉県白岡市太田新井263-1	1992	4	3000羽/日
千葉県	丸トポーター食品株式会社臨調支店	プロイラー	香取市大倉5708-2	2010	4	6600 (羽/日)
千葉県	株式会社ジャパンファーム千葉工場	プロイラー	千葉市若葉区高根町426番地	1999	6	480万羽/年
新潟県	日本ホウワートリー株式会社新潟食品工場	プロイラー	新潟県新発田市藤塚浜3310-8	2012	6	32000羽/日
新潟県	新潟ポーターリー事業協同組合	成鶏	新潟県新発田市舟入1047	1994	12	18000羽/日
石川県	(農) 石川県プロイラー生産組合		石川県かほく市高松2-2-9	1992	4	210万羽/年
福井県	セイケイ協同組合加工工場	成鶏	福井県坂井市坂井町五本3字大江山10-1	1993	4	1,000,000羽/年
山梨県	甲斐産産株式会社	プロイラー	山梨県笛吹市八代町米倉1447	1999	10	27000羽/日
岐阜県	岐阜アグリファーズ株式会社	プロイラー	山梨県高富227番地4	1991	6	3,000,000羽/年
岐阜県	コーチンミラリス株式会社	プロイラー	海津市南濃町志津字菅原原255番地	2020	6	260,000羽/年
岐阜県	農事組合法人東濃ミートセンター	プロイラー	中津川市かやの木町4-30	1992	3	1,997,000羽/年
岐阜県	㈱ギフショク	成鶏	岐阜市安食491番地	1993	4	1,300,000羽/年
静岡県	米久おしい鶏(株)静岡事業所	プロイラー	静岡県磐田市笠海462-1	1992	3	5000000(羽/年)
静岡県	静岡県成鶏加工協同組合	成鶏	静岡県磐田市向笠竹之内1294-5	1996	6	4900000(羽/年)
浜松市	株式会社シガポーター 浜松支店	プロイラー	浜松市中央区湖東町4058-1	2011	6	300,000 (羽/年)
愛知県	(株)奥三河どり	プロイラー	大山市字南大橋45-2	2002	4	3,018,500羽/年
愛知県	(株)マルセ	プロイラー	田原市神戸町大坪240	1992	4	941,000羽/年
豊橋市	一般社団法人シラフーズ	成鶏	愛知県豊橋市岩屋町岩屋下62番地	2020	12	4,000,000 (羽/年)
豊橋市	株式会社丸文牧野商店	成鶏	愛知県豊橋市三ノ輪町2丁目128番地	1992	3	1,210,000 (羽/年)
豊橋市	丸トポーター食品株式会社	プロイラー	愛知県豊橋市牟呂町字扇田17番地	2010	4	1,829,000 (羽/年)
岡崎市	六ツ美養鶏加工協同組合	成鶏	岡崎市上青野町字城屋敷7	1992	3	4,000,000羽/年
三重県	三重チキン株式会社	プロイラー	三重県松阪市市場庄町1172-1	2013	3	1,444,000羽/年
京都府	中丹養鶏事業協同組合	プロイラー	京都府福知山市夜久野町日置小学森島383	1992	10	10,000 (羽/日)
京都府	株式会社共立	プロイラー	京都府京丹後市峰山町二箇1492-1	1992	10	3,000 (羽/日)
京都市	中央食鶏株式会社	プロイラー	京都市下京区梅小路東中町104の3	1992	10	100万羽
大塚市	(有) 木下食鶏	成鶏	大阪府松原市別所5-4-4	2004	4	120万羽/年
大塚市	鳥びん株式会社	プロイラー	大阪府都島区都島本通5-15-10	1992	4	810,000羽/年
兵庫県	みのり農業協同組合加工センター	プロイラー	多可郡多可町加美区山野部161	1992	3	1222000 羽/年
兵庫県	株式会社印南食品 加古川事業所	成鶏	加古川市西神吉町岸802番地	2004	6	1900000 羽/年
兵庫県	有限会社アキノバ八千代工場	成鶏	多可郡多可町八千代区中野間458	1992	3	2500000 羽/年
兵庫県	株式会社但馬どり	プロイラー	豊岡市日高町浅倉45	2015	4	7101000 羽/年
兵庫県	株式会社丹波フレッシュキーン	プロイラー	丹波市春日町七日市75	1992	3	1620000 羽/年
兵庫県	淡路フーズ株式会社	プロイラー	南あわじ市湊129-1	1992	3	2000000 羽/年
奈良県	フード三愛	その他	桜井市吉備303-1	2022	7	15万羽/年
鳥取県	米久おしい鶏株式会社	プロイラー	鳥取県琴浦町中尾84-1	2007	2	38千羽/日
鳥取県	名和食鶏 有限会社	プロイラー	西伯郡大山町豊成79-2	2019	11	830千羽/年
鳥取県	株式会社 大山どり	プロイラー	米子市淀江町中間16-2	2009	5	7,110千羽/年

資料：厚労省

[資料] 2025年8月分の食肉輸入通関実績⑩

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
SLOVENI	242 KG	-	-	-	70	354
CANADA	302 KG	135106	82582	2385992	1831798	11721
USA	304 KG	372	1766	4069	11721	
MEXICO	305 KG	1152	1314	202741	101833	
BRAZIL	410 KG	-	-	3800	4177	
ARGENT	413 KG	278293	117397	1559541	646241	
AUSTRAL	601 KG	149073	111379	413094	460782	
NEWZELD	606 KG	70295	240135	670993	2310242	
NEWCALD	618 KG	-	-	216	731	
TOTAL	990 KG	4115345	1681507	34733389	14637693	
(E. U)	991 KG	318449	239241	1862911	1668589	
0410.10-000	食用の昆虫類(他の項に該当するものを除く。)					
R KOREA	103 KG	500	530	500	530	
CHINA	105 KG	18	375	4086	41816	
TAIWAN	106 KG	100	2542	400	9406	
VIETNAM	110 KG	4464	2230	22795	11996	
THAILND	111 KG	52	1362	297	9691	
TOTAL	990 KG	5134	7039	28078	73439	
0410.90-100	あなつばめの巣					
TAIWAN	106 KG	-	-	20	3470	
MALYSIA	113 KG	509	48219	3300	288394	
INDNSIA	118 KG	20	1918	245	32238	
TOTAL	990 KG	529	50137	3565	324102	
0410.90-200	食用の動物性生産品(他の項に該当するものを除く。)(昆虫類、あなつばめの巣及びプロポリス原塊を除く。)					
CHINA	105 KG	170	2072	257	8841	
TAIWAN	106 KG	-	-	192	4557	
VIETNAM	110 KG	-	-	6	1386	
BRAZIL	410 KG	-	-	25	632	
TOTAL	990 KG	170	2072	480	15416	
0410.90-300	プロポリス原塊					
BRAZIL	410 KG	600	15757	10706	218651	
AUSTRAL	601 KG	-	-	54	921	
TOTAL	990 KG	600	15757	10760	219572	
0502.10-000	豚毛及びいのししの毛並びにこれらのくず					
CHINA	105 KG	-	-	12354	60120	
INDIA	123 KG	-	-	790	8717	
TOTAL	990 KG	-	-	13144	68837	
0502.90-000	あなぐまの毛その他ブラシ製造用の獣毛及びこれらのくず(豚毛及びいのししの毛並びにこれらのくずを除く。)					
CHINA	105 KG	406	10356	8143	116624	
U KING	205 KG	12	3718	68	40696	
TOTAL	990 KG	418	14074	8211	157320	
0504.00-011	動物(魚を除く。)の腸(ソーセージケーシング用のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
CHINA	105 KG	288088	1353099	1905805	9148146	
MONGOL	107 KG	-	-	12675	130448	
USA	304 KG	4802	9244	64095	136426	
URUGUAY	412 KG	-	-	220	234	
AUSTRAL	601 KG	35416	162494	508639	2389430	
NEWZELD	606 KG	29961	150778	349166	1696722	
TOTAL	990 KG	358267	1675615	2840600	13501406	
0504.00-012	牛の腸(ソーセージケーシング用のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
SPAIN	218 KG	230	243	77523	36752	
ITALY	220 KG	-	-	517	478	
CANADA	302 KG	45341	13810	446060	136092	
USA	304 KG	715749	296976	7173879	3339207	
MEXICO	305 KG	104940	30361	1073011	331991	
PANAMA	312 KG	2000	506	5930	2332	
AUSTRAL	601 KG	48573	21377	423715	169886	
TOTAL	990 KG	916833	363273	9200635	4016738	
(E. U)	991 KG	230	243	78040	37230	

(単位: 1,000円、UNIT: ¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
0504.00-019	動物(魚を除く。)の腸(ソーセージケーシング用のものを除く。)(牛のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
MALYSIA	113 KG	-	-	9184	15157	
FRANCE	210 KG	-	-	4000	2036	
SPAIN	218 KG	-	-	83990	50670	
POLAND	223 KG	-	-	6590	3697	
CANADA	302 KG	48800	28450	292000	195737	
USA	304 KG	174200	82724	837720	395831	
MEXICO	305 KG	14306	6414	149793	73504	
PANAMA	312 KG	1630	413	12500	3159	
CHILE	409 KG	500	286	14590	9194	
BRAZIL	410 KG	1000	444	2500	1133	
URUGUAY	412 KG	1510	764	38405	20072	
ARGENT	413 KG	1008	397	5184	1918	
TOTAL	990 KG	242954	119892	1456456	772108	
(E. U)	991 KG	-	-	94580	56403	
0504.00-091	牛のぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
IRELAND	206 KG	12000	7945	31092	25602	
FRANCE	210 KG	692	299	11432	5837	
SWITZLD	215 KG	-	-	30	243	
SPAIN	218 KG	21875	10735	48877	28402	
ITALY	220 KG	520	629	4650	4150	
FINLAND	222 KG	-	-	2518	410	
POLAND	223 KG	513	309	513	309	
AUSTRIA	225 KG	-	-	21987	14843	
CANADA	302 KG	20497	4785	37869	22791	
USA	304 KG	33479	75182	469891	645392	
MEXICO	305 KG	13995	9620	174380	94759	
NICARAG	310 KG	16213	25023	153565	280254	
CST RCA	311 KG	24598	26605	94767	127996	
PANAMA	312 KG	6657	11067	57627	122520	
CHILE	409 KG	37820	31889	137684	167703	
AUSTRAL	601 KG	219234	149618	1431652	1258388	
NEWZELD	606 KG	22769	21427	160706	218820	
TOTAL	990 KG	430862	375133	2839240	3018419	
(E. U)	991 KG	35600	19917	121069	79553	
0504.00-099	動物のぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(牛のものを除く。)(生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し、塩蔵し、塩水漬けし、乾燥し又はくん製したもの)					
VIETNAM	110 KG	-	-	540	272	
THAILND	111 KG	327013	132142	2569525	1063197	
ICELAND	201 KG	-	-	525	221	
SPAIN	218 KG	-	-	25990	9206	
USA	304 KG	-	-	23509	4900	
MEXICO	305 KG	500	358	2935	2314	
PANAMA	312 KG	660	344	3500	1816	
CHILE	409 KG	984	305	7032	2003	
BRAZIL	410 KG	333924	82238	1530646	341507	
AUSTRAL	601 KG	1110	1157	35900	9602	
NEWZELD	606 KG	10790	4883	27366	143858	
TOTAL	990 KG	674981	221427	4227468	1578896	
(E. U)	991 KG	-	-	25990	9206	
0505.10-000	綿毛及び詰物用の羽毛(加工してないもの及び単に清浄にし、消毒し又は保存のために処理したもの)					
CHINA	105 KG	156435	1280480	395290	2753434	
TAIWAN	106 KG	21025	56018	194928	545502	
VIETNAM	110 KG	7550	51962	38320	290516	
ICELAND	201 KG	-	-	281	94215	
FRANCE	210 KG	5540	55110	33045	298352	
GERMANY	213 KG	215	9046	2221	69039	
SPAIN	218 KG	6212	64026	43483	446240	
POLAND	223 KG	3975	91127	27927	618922	
RUSSIA	224 KG	-	-	9575	236898	
HUNGARY	227 KG	16560	125012	111233	1262866	
ROMANIA	231 KG	2000	51464	2000	51464	

(続く)

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 10月1日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	4,324	2,322	2,174	-	-
		安値	2,138	2,104	2,108	-	-
		平均	2,579	2,250	2,142	1,728	-
		頭数	80	19	3	1	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,352	2,561	2,161	-	-
		安値	2,147	2,159	2,079	-	-
		平均	2,468	2,257	2,134	1,982	-
		頭数	147	49	8	1	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	2,117	-	-	-	
	頭数	-	1	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	1,957	1,662	1,598	1,436	-
		頭数	1	10	15	5	-
	雌 C	平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-
去 B	平均	-	1,647	-	1,453	-	
	頭数	-	2	-	2	-	
去 C	平均	-	-	1,497	-	-	
	頭数	-	-	1	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	415 428	786 548	- 261.5	(競り)	(相対)	
				-	10	62

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,876	2,127	1,608	1,549	-
	B	2,623	1,635	1,485	1,479	1,189
和 去	A	2,357	2,215	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,088	-
	C	-	-	-	1,047	994
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,730	1,531	1,469	-
	C	-	-	-	1,426	-
交 去	B	-	1,742	1,634	1,465	-
	C	-	-	1,507	1,466	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	648	681	642	603	555
	安値	631	572	540	421	273
	平均	639	598	573	551	538
	頭数	(2)	(146)	(184)	(89)	(127)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	-	-	578
	安値	-	-	-	-	578
	平均	-	-	-	-	578
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(10)

[大阪食肉卸売市場] 10月1日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,422	2,070	1,834	-	-
(頭数)	(7)	(2)	(2)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	2,355	2,047	-	-	-
(頭数)	(14)	(4)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	1,953	1,763	1,518	1,455	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,731	1,541	-	-
C	-	1,568	1,472	1,404	-
豚	-	624	531	433	474

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	10月1日	9月30日	(10月累計)
豚	61,800	67,800	61,800
成牛計	4,550	4,560	4,550
和牛雌	1,220	1,040	1,220
和牛去勢	1,110	1,100	1,110
乳牛雌	630	1,010	630
乳牛去勢	340	410	340
交雑雌	580	520	580
交雑去	570	470	570

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 10月1日

東京	1,574円	(前日 1,538円)
大阪	1,541円	(前日 1,511円)

[豚・全農建値] 10月1日

上	中	取引頭数	市況
600円	577円	1,225頭	弱もちあい

と畜 売買	牛 80頭 牛 77頭	豚 60頭 豚 117頭	牛概況 豚概況	もちあい まちまち
----------	----------------	-----------------	------------	--------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 10月1日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	626 (648)	- (-)	5,977	-	下押し
仙台 [中]	584 (599)	545 (548)	595	38	続落
栃木 [地]	- (-)	539 (-)	1,613	25	-
茨城 [地]	600 (583)	569 (565)	1,463	497	上伸
群馬 [地]	548 (585)	463 (489)	2,210	457	反落
さいたま [中]	593 (617)	582 (605)	145	153	反落
東京 [中]	598 (608)	573 (564)	786	548	急反落
横浜 [中]	609 (601)	576 (564)	676	630	反発
山梨 [地]	643 (723)	577 (684)	151	111	急落
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	658 (644)	599 (607)	834	156	上伸
京都 [中]	- (699)	- (706)	-	-	休市
大阪 [中]	624 (-)	531 (647)	60	104	まちまち
神戸 [中]	605 (759)	599 (762)	120	45	下押し
岡山 [地]	655 (643)	665 (660)	329	368	強気配
広島 [中]	629 (656)	612 (613)	201	80	急落
福岡 [中]	628 (623)	596 (582)	341	169	反発

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 9月24日～9月30日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,892,749 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,242	1,325	1,396	1,331	85,689
うで	810	896	993	907	161,771
ロース	1,148	1,231	1,379	1,250	187,527
ばら	1,259	1,350	1,434	1,350	177,495
もも	773	861	918	858	207,883
ヒレ	1,079	1,245	1,361	1,229	10,419
セット	1,008	1,075	1,121	1,072	1,061,965

◇近畿圏 総重量 717,466 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,350	1,413	1,479	1,423	57,464
うで	746	818	896	824	110,109
ロース	1,179	1,315	1,353	1,298	91,993
ばら	1,310	1,362	1,415	1,366	133,714
もも	766	810	864	809	165,332
ヒレ	1,242	1,350	1,446	1,351	11,354
セット	1,005	1,111	1,203	1,097	147,500

[食鳥正肉日経相場] 9月30日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	664	725	938	179
ムネ	514	559	742	139

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	667	757	1,030	4
ムネ	516	552	651	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 9月30日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値					
安値					
平均	30日分は3日掲載				

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日期間中（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

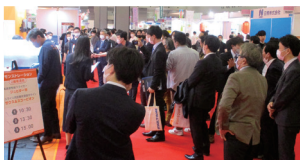
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

イベント

国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランケット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

教材&レポート等

あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男著
鏡 晃

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

〜食肉のプロフェッショナルを育てる〜シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995